

10日午後0時5分 号砲

1/28

第57回延岡西日本マラソン

若手の登竜門 全国からエントリー



会見を行った(右から)竹本支社長、読谷山市長、寺村社長(きょう午前、延岡市役所)

第57回延岡西日本マラソンは2月10日午後0時5分から、延岡市役所前を発着点に日向市原町を折り返す42・195キロの日本・国際陸連公認コースで行われる。全国38都道府県から男女692人がエントリー。前回2位の松尾良一選手(旭化成)が2年ぶり3回目の優勝を目指す。中嶋和希選手(同)ら計12人が招待選手で、リオデジャネイロ五輪マラソン代表の佐々木悟選手(同)がペースメーカーを務める。主催・九州陸上競技協会、延岡市、UMKテレビ宮崎など、特別協賛・旭化成

大会は延岡市の市政30周年を記念して昭和38(1963)年に創設。広島日出國さん、宗茂さん・猛さんら各ランナーを輩出し「若手の登竜門」として知られている。

今回は男子654人、5年目となる女子の部に、大会事務局はきょう午前、延岡市役所で記者会見。大会名誉会長の読谷

山洋司市長が「半世紀を超える歴史のある大会。ボランティア500人を含む700人のスタッフに支えられ、多くの選手が練習の成果を発揮できる大会に、同じく名誉会長の寺村明之UMK社長

が「全国の方々に大会の魅力をお届けできれば。特別協賛社の旭化成・竹本常夫延岡支社長はまず「市民をはじめ、たくさんの方々が3連覇にながったとニューイヤル駅伝の優勝を報告。この県北地域の陸上界を盛り上げ、トップアスリートが誕生してほしいと協賛させてもらっている」と語った。大会は、UMKの制作で沖繩を除く九州7県で牛放送。BSフジでは90

分のダイジエスト番組を全国放送。また、市役所第1駐車場には190台の大型モニターなどのマラソンプラザを設置する。